

豊浦地区まちづくり集会（H25.10.20 開催）

豊浦地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年10月20日（日）14:00～15:30

◎場 所 川棚公民館

◎出席団体数 14団体

下関市豊浦快適環境づくり推進協議会、下関市豊浦自治会連合会、豊浦町PTA連合会、豊浦地区婦人会、下関市老人クラブ豊浦支部、豊浦町体育協会、豊浦町民生児童委員協議会、下関市社会福祉協議会、豊浦地区子ども会連合会、下関市青少年町民会議、下関市豊浦町女性団体連絡協議会、下関市保健推進協議会豊浦地区保健推進委員会、豊浦町観光協会、下関市食生活改善推進協議会豊浦支部

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也
豊浦総合支所地域政策課長：山下哲人

◎傍聴者 2名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 14:00～ |
| 2 部長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 14:05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14:30～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 15:30 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

豊浦地区まちづくり集会（H25.10.20 開催）

【開催の様子】

10月20日に開催した豊浦地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から14名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、豊浦地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

豊浦地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

豊浦地区まちづくり集会

10月20日 豊浦地区まちづくり集会

No2 10月20日

地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）	地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
福祉				その他(2)			
個人情報の共有			適切な情報提供	雇用の場の確保		地域で商店を	
子育て		行政と協議	報告書の確認、点検実施	買い物弱者対策		買い物のための車両確保を	
遊具の自主点検(市へ報告)				地域組織のリーダー育成			
農業体験学習の実施		出前講座の活用					
子ども見守りの協力							
安全安心							
早期の事業推進(通学路の安全確保)							
自転車ルール明示							
その他(1)							
美意識を持って公共事業推進を							
公共施設の適切な維持管理							
駐車場対策		一部行政の支援					
交流の場の提供を(子ども会)							
活動拠点は公民館(対応できる職員の配置)							

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

諸先輩がおられる中で非常にせん越ですけども、皆様のご協力を頂きながら、この集まりを進めていきたいと思えます。最初の質問にありましたように、ちょっと色々な説明頂いたけども、この集まりが何なのかというのが今一つよく分からないままの感じになるうと思えますが、決められた時間がわずかで、課題の提出が30分、そのまとめが30分です。

そういった事ですので、30分間で皆さんから課題をお聞きするという事ですので、この人数ですから1人につき1～2分というところです。課題については、端的にご発言頂いて、その背景、説明は簡潔にお願いしたいと思えます。

ご発言頂いた課題は、前の画面にパソコンで入力するという事ですから、それぞれの方の発言が出ると簡潔に表現されるということで、改めて発言された内容を確認して頂けたらと思えます。

それでは、先程も色々な説明ありましたが、そういう説明の中で、まだ十分ではないと思えますけど、皆さんがそれぞれの立場で活動されている中、或いは地域の住民として考えられている課題、豊浦町が元気で住みよくて安全で、もっと色々な意味合いがあると思えますが、今日は豊浦町が大好きだという皆さんが、豊浦町がもっと良くなるための課題というものを、皆さんからご発言して頂きたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

どなたからでも結構です。よろしくお願ひ致します。どなたか口火を切って頂くと。

【市民】

私は今、福祉の担当をしております、豊浦町内5地区の社協がある訳ですが、私の所は平成19年から見守りネットワークの地域のマップ作りをやっています。

これは指定を受けたという感じで始めたのですが、毎年、これには自治会長、民生委員、そして地区の班長ということで、例えば役員を交代された方にも出てもらおうという事で、今、私のところの小串地区には17班ありますが、全部、この17班の地図を作りまして、高齢者の安全といえますか、そういう地図を作っていますが、年々変わっております。

と申しますのも、高齢者が亡くなったり、施設に入られたり、そうしてそれを調べるわけですけども、例の情報の公開のことで、民生委員の方は、割と分かって頂いているのですが、私が自治会長の時代に、名簿も回収されまして、今はそういった情報が分からなくなっていますし、最近、地区外から引っ越されてアパートに入られた方の場合、特に自治会長でも分からないということで、今、困っている現状であります。

だから、情報の公開と共有ということが先程の説明の中にもありましたが、そういう関係でやはり地域を守るためには、ある程度の情報の共有ということ、行政側も考えて頂ければ良いなという風に思っております。

【司会】

どうもありがとうございます。福祉の活動の中で、なかなか行政の方も個人情報の取得

ということで、出して頂けません、やはり地域で活動するためには、一定の情報も必要だという事だと思えますね。

今日は、いつもだとかいう会議では女性の参加が1～2人なのですが、今日は4人の方に出席を頂いていますので、どなたか遠慮しないでご意見はありませんか。

【市民】

今日は下関市豊浦町女性団体連絡協議会の会長ということで参加しておりますが、今、実際に自分が携っている分野で課題を申し上げたいと思います。

子育ての分野ですけれど、毎年、夏場に色々な公園などの遊具点検をしています。

実際に行政の方が管理している遊具も含め、皆で親の立場から遊具点検しますと、行政側から見れば安全だと判断されたものであっても、親の立場から、また子供たちと一緒に遊具点検してみますと、下の金具が緩んでいるとか、色々とそういう部分も出てきますので、私たちが点検して、危険と判断した箇所を行政にお示しすれば、行政もまた、その箇所に目を通して頂けるようにはなっています。

一応、我々の団体は国の組織ですので、年間行事の一つとして、親の立場での遊具点検と公園の周りの見守りを、年に1度、点検して、県又は国にも報告書を提出しています。

そういう部分について、合併前の豊浦町の頃は、公園を管理する建設課にも報告書を提出し、危険な箇所への対応をして頂いていたのですが、下関市になってからは、そういったやり方が難しい状態にあります。

直接、国や県には報告を提出するのですが、そこはあくまでも挙げたという形だけで、実際に、行動に移してもらえるかどうかは難しい部分もありますが、今後できたら一応報告を挙げたいと思いますので、そういう部分に市も一応目を通して頂いて、やっぱり親の立場とか、子供から見た立場での遊具の点検とか、公園の周りのあそこはちょっと、あの周りで子供が遊んだら危ないね、という視点でいつも点検していますので、そういう感性で行政も多少なりとも見て頂けたらと思います。

【司会】

ありがとうございます。ちょっと課題ということで、言葉にまとめるのが難しそうですけど。

【市民】

豊浦町観光協会から参加しています。本日は会長の都合により、代理出席しております。

まちづくりと一言で言っても非常に範囲が広いと思います。そこで、私自身の発言が少し的外れだとしたら恐縮ですが、まちづくりの作るという部分は投資ですよね。そういう意味から言えば、今、課題に挙げられている事もよく分かりますが、もう少し豊浦町というかこの地域として、前向きにと言いますか、もっと能動的に積極的に取り組んで頂きたいという課題を沢山に持っています。

しかし、今日は、そういった集会でも無いのかなという思いも致しますが、行政には色々事業を進めて頂いておりますけども、どうしてもビックプロジェクトとなると、これは力関係というか、初めから分かっていることですが、旧市内に大きなプロジェクトが集中していると思います。ある程度はやむを得ないのですが、1つこの地域においてちょ

っとそのお願いしたいのは、例えば公平性ということで、旧4町には今もその工事が始まっているようですが、豊浦町以外は市庁舎の建設というものが進められているように聞いております。

豊浦総合支所庁舎は、他の総合支所庁舎と比較すると新しいということで、今は耐震工事と図書館を備えようということで、ある意味で公平性といえますか、地域分権の方策としてそういうことが行なわれようとしています。その際に、今日は陳情の場ではないことはよく分かっているのですが、私も大して旅行をしてきたという訳ではありませんが、ヨーロッパなんかは、どの町に行きましても市庁舎があり、その前に必ずと言っていいほど広場があって、その広場を人民が誇りに思えるような、やっぱりみんなが意識して、いわゆる綺麗な場所に、例外無くしていると思うのです。

それで、この度の図書館もありがたいし、耐震構造も必要ですけれども、もう少し美意識といえますか、お金がそんなに掛る訳ではなくて、そういうことをして頂く場合に、例えば、今の前の図書館がどうなるのか、私が知らないだけかもしれませんが、そういったもし新しい図書館が出来て、不要になるならば、それも広場にして、もう少し色彩計画といえますか、ここにある程度の行政機能が集中しておりますので、統一感を持ってその補修的なこともやって頂ければ有り難かったかなと思います。

或いは、植栽をもう少し整理する、建物を整理して、植栽をもう少しふんだんにといいますか、今、一部ライオンズクラブがあれば寄付といえますか、一部にできていて、それはなかなか美しいものだと思いますが、そういう部分を徹底的に、この町については美意識を持って行なって、そしてそのことを住民の誇りになるような形で進めて頂けたら全然違ったものになるのではないかと思います。

そこで、私の住んでいる所は、これも綺麗とは言えませんが、少しずつでも企業も含めてというか、むしろ中心になってやっていかねばならない。

また、一部で実行しているのですが、やはりこの一言でいえば、行政が事業を推進されるにあたって、美意識というかアーティスティックなものでお願いできたら有り難いなと思います。

【司会】

ありがとうございます。

課題として、今、端的に言われたのは、総合支所庁舎の整備をやっていきますので、美意識を持った整備をやってもらえるか、美意識を持って整備をすることが課題ではないかという感じかなと思います。

ちょっと発言しにくいとは思いますが、あの表をちょっと見て頂いたら左側に区分欄というのがありますよね。環境、教育、高齢者、子育て、安全、安心、産業、スポーツ、文化、福祉、他にも一杯あるかと思うのですが、そういう括りで考えて頂くと、その中で豊浦町が住み良くなるためにはどのような課題があるのかなと。

司会の立場ですから、私が発言するののもどうかと思いますが、先日も豪雨災害がありまして、川の護岸が崩れました。地震や津波よりも日常的な災害は、どうもやはり雨による災害が多いのかなと思います。

そうすると、それに対する強い河川なり地域を作るとというのが課題になるのかなど。そんな単純な発想で課題を提起して頂けたら有り難いなという風に思います。よろしく願い致します。

【市民】

下関市老人クラブ豊浦支部から参加しました。

昨年度のタウンミーティングでも発言させて頂いておりますが、子供たちの通学路のことで、学校から江良方面、そして川棚温泉お多福の前に出る道をご存じだと思いますが、あの道を拡張するのに対して、予算は確か下りていると思います。

しかし、この前の雨が降った時も、朝7時から8時20分まで車は通行止めになっているにも関わらず、車が入ってきます。そうすると道が狭いので、車を避けるために子供たちは田んぼの中に入らなくてはいけないので、靴が濡れてしまいますし、濡れるだけならいいですが、もう少しで轢かれそうになることもあります。だから、せっかく予算がついたのなら、もっと早く整備して、安全にしてもらいたいと思います。

【司会】

公共事業を早くやってくださいということですね。他には。はいどうぞ。

【市民】

時間が少ないようなので手短かに。

スポーツ関係ということで、私は町の体育協会の会長という立場で、もう既に行政側にはお伝えしておりますが、お金が無いという事で全く進んではおりませんが、体育施設、公共施設のいわゆる修繕費とか、それからルール改正に伴って必要となる、それぞれの種目団体、種目競技のコート整備の関係とか、それから大きな大会をここに引っ張ってくるにあたってトイレの環境が少し悪いだとか、その辺りを聞いております。

それに、これも行政側には伝えておりますが、最初にも説明があったように、予算が伴わないということで、なかなか良い返事が頂けない現状にあります。その辺についても順次、市側で計画を立てられて、随時説明しながら進めていきますといった回答を頂きたいと思っております。

それと、この集会の位置付けについて、市全体の総合計画があると思うんですが、その総合計画の中には、この集会がどのように位置付けられているのか、時間があれば後程、簡単にご説明頂ければと思います。

【司会】

ありがとうございます。

【市民】

課題として、その1つに子供に対する農業体験学習を積極的な導入すべきということですが、これは既に農協サイドが小学校と連携してやっていますが、この取り組みをより強力にして頂きたい。そうすることによって、下関市には都会の部分と農村の部分がありますので、子供たちの体験学習で農業に対する理解、或いは第一次産業に対する積極的な地元の消費、或いは食料意識の向上と、そういう細かいことまで影響していくものだと思います。

それともう1つは、やはりカルチャーといいますか、文化の面で旧下関市内では色々と行事をやっておりまして、豊浦町の中でも色々な事をやっているというのは、ある程度存じている訳でございます。

しかし、市全体として、行政として、やはりもう少し豊浦町、特に駐車場のような個別の問題もございます。

個人的には梅光学院大学が行っているカルチャーに参加していますが、旧4町側には駐車場として利用できる場所も沢山あるので、市もやはり積極的に活用して、いわゆる4町の復興に利用していくことが必要ではなかろうかと、そういう様に考えております。

【司会】

ありがとうございました。時間が無いですが出来るだけ多くの方に発言して頂きたい。

【市民】

私は民生委員の代表として参加しました。

高齢者という題目があるので、それについて少し申し述べたいと思うのですが、今、豊浦町には民生委員が53名、市民児童委員といって児童専門の委員を除けば53名います。

毎年、実態調査ということで、高齢者の2人暮らしであるとか、独居の方などを毎年5月から調査しております。

この数は年々増えておりまして、高齢化率は34パーセントに届くという状態になっています。お年寄りの方たちとお話をすると、お年寄りからは、子供がいても、学校を出たら地元で働く場所が無いので、どうしてもよそに出てしまうというお話が一番多いです。

そのため、老夫婦2人だけが家に残るし、どちらか一方が亡くなれば独居となって、これは、年々増えてきています。

お年寄りに対することについては、先程、社協の理事からもご発言がありましたように、私たちが出来る事は一生懸命やっていますが、今後、益々お年寄りが増えてくるので、どんどん活気の無い町になっていくのではないかと感じています。

行政に要望するとすれば、お年寄りに対する事ではなくて、どうにかして雇用の場を下関内に作って頂きたいということ。

そうすることによって、お年寄り2人世帯とか、独居の老人とかいう所帯が減っていくんですよね。そしてまた若い人が同居することによって、子供の数も増えるし、町にも活気が出ると思うので、是非ここに市議員さんもいらっしゃいますし、行政の担当者もいらっしゃるので、できれば雇用の場を設けるような政策を是非お願いしたいと思います。

【司会】

表の一番上の欄に自助、共助、公助と書かれてありますので、行政に色々やって頂くということも当然ありますが、自分たちでやれることの課題、或いは地域でやれることの課題ということも頭に入れて、ちょっと発言して頂けたらありがたいなと思います。

それで今、子供たちの関係のお話もありましたので、子供会又はPTAからご発言はありませんか。

【市民】

豊浦町PTA連合会の会長をしています。

やはり、直接関係してくるのが安全・安心の部分じゃないのかなと思うのですが、その中で1つ、自転車の問題なのですが、道路交通法が改正された中で、小学生には義務が課されないのではないかといったルールのような話がまかり通っているようで、小学生が良いのであれば、中学生はどうなのか、高校生の通学ならどうなのかといった問題が出てくると思います。ルールがはっきりとしていないというのもありますし、高齢者は、本当に車と同じ右側を通る必要があるのかといった事もあると思います。

その辺りを、自動車の運転免許と違って誰も講習を受けた経験がないので、誰もが目に付く場所に、分かり易い形で提示できるような態勢が取れたら、安全性が増すのではないかと考えています。

【司会】

自転車のルールを明示して貰いたいということですね。

【市民】

豊浦地区子ども会連合会です。

今までのお話を聞いていて、私たち子供会としては、どのように携わったら良いのか、その辺りが漠然としていて分かりません。

正直に言います、今、この辺の地区には子供会がありません。それからちょっと小学校の話が出たのですが、川棚地区も1つにまとまりたいと、もう正直言って、子供会が半分封鎖しているような状況の中で、今更、子供会で何をやるんだ、どうすれば良いのかと言われて困っています。

今は分かれています、福祉の関係でも、スポーツの関係でも、教育の関係でも、それら全てに当てはまるのは、結局は子供会です。安全・安心でも、先ほど言われた遊具の件にしても。

やはり反対に、子供会の件で色々と言われるのであれば、これだけ少子化になった地域においては、井の中の蛙にならないだけの旧市子連、または他町村との交流の場というもの行政側で設けて頂くことができれば、子供会に入ってみようかと思う親も増え、子供会の復活にも繋がってくるのではないかと思いますので、その辺りを考えて頂ければと思います。

【市民】

提言という程でもございませんが、今、子供会の件もそうですし、婦人会、女性会等も同じように、だんだんと団体数が減少してきています。

要するに、家庭教育を含め学校教育、地域教育も、戦後の教育の中で見落とされてきたところがあって、だんだんとお世話をするのは、面倒だから嫌だと、役になるのが面倒だから嫌だというような個人的な考え方が蔓延して、今に至ってきていると思うのです。

私たちは、青少年を守るということで皆さん方にも協力を頂きながら、町内の子供たちを見ているのですが、やっぱりその辺も、今の実情を考えてみますと、役員、それから出て参加する人たちも高齢化してきています。

若い人たち、現場の現状の人たちが少なくなっていくと、最後はやっぱり戦後教育の中の何か欠けていたのではないかという風な気が致します。

その辺が、このまちづくりを進める中で、そういう事が欠けていたので、こういう方向に進んできていると思うのです。

それで1つは、このまちづくりの中の活動拠点を行政がどこに設けるかということが、今後、注視すべきことだと思うのですが、現状で言いますと、やはり市民が直接集まって親しく話ができる場所というのは、やっぱり各地区の公民館と思います。

公民館に活動拠点を置きながら、そしてぎっくばらんに話を進めるというところで、それに対応できる職員の方を置いて頂いて、話をしながら意識を高めていくという方向に今から少しずつ力を入れて頂ければ良いのではないかなというような気が致します。

【司会】

ありがとうございます。どうぞ。

【市民】

婦人会です。

婦人会というのは、自主団体で誰からも制約を受けない団体なのですが、今、私たちは、女性の立場で、女性の目で身近な問題を見つけようということを課題としています。

その中で、女性の立場で身近な人の暮らしの中で、まず活動すべきと考えたのは防災です。

防災の場合、避難に関して直接的な活動を行うのは、当然に力がありませんし、また、出来ませんが、避難場所での活動については、お手伝いができると思います。避難場所での様なことが出来るのかということで、日夜、体験学習への参加や、自分たちの考えを持ち寄って話し合いをするなどしております。

それと、今、問題になっているのは買い物弱者の事です。

今、豊浦町には商店街が非常に少なくなりまして、川棚地区にほとんどのスーパーが集まっています。そのため両横の黒井、室津それから宇賀、小串地区には、スーパーがありません。高齢者も、やはり買い物しなければ生活ができないと思いますが、そういう小規模商店が無くなったことで、高齢者は非常に苦労しているのですが、そういう買い物弱者が、どのようにすれば自分たち自身で、自分のお金で買い物ができるのかを考えると、お店の都合もありますが、小規模商店を残すということが第1です。

それから第2は、買い物に行ける車を豊浦町としては出して頂きたい。バスまたはハイヤーを利用すれば簡単なようですが、やはり年金生活の方には、なかなかできません。

それと、病院に入る人が大変多いのですが、もう内緒でそっと、今は親戚の家に出かけていると言われるような状態で、非常に人間関係が希薄になっています。

こういう希薄になった隣人たちの見舞いができるよう、また、私たちはそういう人たちに対して、優しい心遣いができる人付き合いといいますか、温かみのある自分の住むところを活かしていけたら良いなって思っています。

これらの意見は、婦人会みんなの意見をまとめて、色々と紙に書いてきましたので、その中身を集約して発言するのは、なかなか難しいのですが、そういうようなことをみんな考えております。

それで、行政に全部頼っては行政も人数の制限もあるし、大変難しいので、自分たちで

できること、それから行政に協力を仰がないといけないことを、きちんと区別してやっていかなければ、色々な事が実現化しないということを皆が申しとおりました。

まあ、こういう風に御上に頼ってばかりおってはいけないということを、皆で意識しております。まだ色々ありますが、沢山書かれていますので、また後程、よろしくお願ひ致します。

【司会】

ありがとうございます。

課題については、皆さん全員に発言して頂きたいと思ひます。

【市民】

私は食生活改善推進協議会豊浦支部から参加しました。

皆さん、食生活とはなんだろうかと思われる方もいらっしゃると思ひます。私たちは、5地区それぞれで、1年間ほど養成講座を受けまして、その仲間として現在、全部で70名くらいおります。古くから活動されてきた方の中には、高齢化を理由に引退される方もいらっしゃいます。

養成講座を行っていますが、子育て中の方、それかお勤めされている方は、なかなか継続していくのが難しいです。

そして各地区で、ここには沢山の男性がいらっしゃいますが、男性料理教室も地域それぞれでやっておりますので、皆さんご協力よろしくお願ひします。

【市民】

下関の保健推進協議会ということで、豊浦地区でやっています。

下関の保健推進協議会というのは、大体、赤ちゃんからお年寄りまでを看るといふ保健推進なのですが、豊浦町の場合、ご高齢の方へは社協の方が色々やって下さるので、主に子供たちといふか、子供のいる世帯を主にやっています。

先程から出ています個人情報の件ですが、もう全く情報が無いので、どこに誰が住んでいるのかも分からないし、表札が出ていない家もある。

私たちは、訪問活動もしていますが、訪問活動といつても、どこの家かも分からないし、玄関のチャイムを鳴らしても出てくれない場合もあり、かなり苦労しながらやっています。

しかし、お母さん方、お父さん方といふのは、自分の子供のことに關してはすごく本気でされているんですね。今は、入学式に行っても、お父さん、お母さん、みんな来ているような、おじいちゃん、おばあちゃんまで来ているような感じなんですけれども、いざ他の人の事をしてあげようといふ意識がなかなか無くて、こういう役になって下さる方といふのがいらっしゃらないといふのが現状です。

今はもう、共働きですごく大変なんでしょうけれども、そういうリーダーになってくれる方といふか、そういう他の方の事もできるような方々を育てるじゃないですけども、何か意識回復として、こういう事もできるんですよといふのを何か取り上げてもらえると、もっとやりやすくなるのかなといふのはあります。

【司会】

ありがとうございました。

【市民】

私からはお願い事になりますが、知っている方もおられると思いますが、小学校前にみゆき橋というのがあります。

そこには信号機が無いのですが、そこに私は約14年前から立って、小学生、中学生、高校生の子供たちの交通指導をしています。

小学生でも、高校生でも、自転車に乗っている子がいたら必ず降ろします。

今は子供たちも自転車から自主的に降りて、交差点を押して渡ります。

みゆき橋に1人、それから北村にも3人いましたが、今は1人になってしまい、これでは到底あちこち見守りをするのに人数が足りません。

下関地区で一番よく交通指導をされているのは八道、その次が小月です。

豊浦町の中では誠意小学校ですね。ここの人たちは、よく立っています。

私は川棚地区で色々な人に呼びかけていますが、一向に出てくれる人がおりません。

そのため、先日の台風や、3年くらい前の大きな台風で川の水が氾濫しかかった時には、人数が足らなかったため、学校に連絡にして先生に来てもらい、危険個所の監視をお願いしたこともありました。

そのため、こういった事については、行政などにも力を借りて、もう少し親が自発的に出て、わが子らの見守りをしてくれるようになったらとても嬉しいと思います。それから、他の学校は知りませんが、川棚小学校では、子供たちに交通安全という教育で、自転車歩行についての教育はしております。

【司会】

ありがとうございました。

課題に要する時間が10分程超過していますので、ここで申し訳ないですが、課題の話は終了させて頂いて、それぞれの皆さんが出された課題を解決するために、そのまず自分たちでやるという側面で、どういう風にしたらうまく解決できるのかについて考えて頂きたいと思います。

自分たちでというのは、地域レベルと個人レベルとがあるようです。それから行政に少しお手伝いしてもらうことによって、課題を解決できるのではないかと、という事もあろうかと思えます。

画面の左側に、今まで発言して頂いた事を、項目別に整理してもらっています。適切な整理になってない所もひよっとしたらあるかもしれませんが、まあ皆さんが発言されたことが大体整理されています。この項目に従って、どの項目でも結構です。自分が発言された項目でも結構ですし、他の方が発言されたところで、こういう風にしたら解決できるのではないかなということ、皆さんの思い付きでも結構ですので、出して頂けたらと思います。

時間も余りありませんので、簡潔にお願いいたします。

先ほど行政の方という項目が色々あったと思うんですね。上からいくと、個人情報の共有というのは、地域が必要となる情報は、行政が適切に出して頂かないと、地域の活動もなかなかうまくいかないというニュアンスの話だったと思いますね。

この辺りは自助、共助の話じゃなくて、まあ公助、行政の方の範囲だと思いますね。それから遊具の自主点検、市に報告している、これに対して市が適切に対応してないという側面もあるのでしょうかね。そういう事があるのなら、市の方をお願いしたい。農業体験学習の実施というのは、これはどうなんですかね。共助でそういう取り組みをやればということにもなるのでしょうか。私が勝手に発言するものあれなので、まあそんな感じで、皆さんのご意見を出して頂きたいと思います。よろしくお願いします。

【市民】

多分、おっしゃるように、公助の部分については、もう議論の余地なしですよ。行政に頑張ってもらって。

【市民】

この中で、例えば、その自助っていうのもなかなか難しいのしょうから、共助の部分があるかどうかというところが1つあるのかなあと。

【市民】

情報の共有についてですが、これについては、色々な会議の中で、他の団体の方々と民生委員との話がいつも合わなのですが、民生委員の方は、個人情報うんぬん以前に、知り得た色々な情報を他の人に漏らしてはいけないということが、民生委員法に定められているからです。

そのため、お年寄りに対しては見守りが絶対に必要だと思っても、言えないですよ。本人の了解を取って隣の人にとか、個人的にお願いするっていうことはあるのですが、例えば自治会に対して、こういう人がいるからって公にはなかなか話すことができないので、個人情報の共有っていうところになると、どうも積極的に協力できないような形になっております。

【司会】

ありがとうございます。どうですか。どの項目でも結構ですので、こうしたら解決につながるのではないかなというアイデアをお願い致します。

【市民】

私は、カルチャーの面と農業体験学習の実施ということで一言、発言したいと思います。

この背景には、色々な理由がある訳でございますが、これは行政の考えと言いますか、行政の基本、行政がどのように基本的に考えて頂くかということで解決できる問題で、だからそういう面で、なぜ必要かというのをこういった会議ではなくて、個別に色々行政の担当者と話し合いができれば良いなと思います。

【司会】

ありがとうございます。共助のところ。はいどうぞ。

【市民】

今、前の画面に挙がっていますが、交流の場の提供については、共助だけではなく、公助の部分もあるのではないかと思います。

要するに、任意で活動している私たち子供会は、正直いいますと一人50円、100円といった小さな財布の中で運営されています。そのため、そのお金を使って活動できる範

囲は限られますので、それ以外の分については、行政からも少し補助なりを頂ければという気持ちで発言させて頂いたつもりですので、それも踏まえて頂ければと思います。

大半の部分は共助でも大丈夫です。

【司会】

子供会はどうですかね。豊浦町の連絡協議会といったものは有るのですか。

【市民】

市子連、県子連といった縦系列のものはありますが、横系列の協議会はありません。

【司会】

そういうことですか。

【市民】

そういった縦の系列しかありませんので。

【司会】

それなら、大人の会議みたいな話ですね。

【市民】

大人の会議はあって、役員会という形でやっていますけれども、それも皆、子供たちの会費の範囲でやっています。

【司会】

雇用の場の確保については、共助で解決するのは難しいですね。買い物弱者対策というのは、共助ではよく色々な所で、例えば自治会が音頭を取って空き家を商店にしたとか、或いは農協がやったとか、そういうのはありますよね。

そういった試行を少しやってみたいなという思いは、まあ小串なんかでも買い物弱者の方がいらっしゃるし、豊浦町では川棚地区を除いて、そんなに先の話ではなくて、買い物弱者は沢山おられるのですよ。

地域でそういった小さな商店を開くというのは、1つの大きな課題ではあろうとは思っていますよね。なかなかそうは思いながらも、難しいという所ですね。

それから、地域組織のリーダー育成、これやっぱり担い手が、私どもの自治会ですけど、やっぱり次の担い手がなかなか見つからないという所があって、色々な団体も同じ悩みだと思いますね。

団体数が減っているというのも、担い手がなかなか育ってきてない。まあ、それは結局のところ、団体を担っている、私たち人間の責任でもあるという風に思いますけどね。

【市民】

豊北の二見自治会はしていますよね。二見自治会では、お年寄りをマイクロバスに乗せて週に2回くらい病院まで送り迎えをしている。

【市民】

先程、快適環境づくり推進協議会の方から発言のあった農業体験というのは、児童にとって非常に大事なことだと思います。

市が出前講座をやっていて、社会教育委員の会議にも一覧表が出されるのですが、そういった項目もあるようですので、こういうところの情報を頂いて利用されたらどうかと思

っております。

市も地域に向いて説明しますよといったことで、例えば、病院の関係のことや医療保険、それからゴミの環境のことも出前講座があるので、そういうのを利用したらどうかと思います。

【司会】

ありがとうございます。後はなんでしょうかね。自転車運転のルールを明示というのは、これは警察と地域で話し合うというのがあるけれども、基本的には警察ということになるんでしょうね。

【市民】

自転車のルールというのは、自転車と聞くと、どちらかといえば、怪我をされた側だと皆さんは思っているんじゃないですか。でも、今は法律が変わって、賠償する側になっているということなんです。

学校では安全の乗り方については教えますが、実は加害者になる可能性もあるといったことは、なかなか認知されていません。

それが通学を目的に自転車に乗っていたのであれば、どこを走っていても加害者にはならないとなれば、いよいよルールが分からなくなってしまうかなと思うんです。

なので、加害者になってしまう現状というのが、今はありまして、そのために、では安全に乗るためにはどうするのかって、今度はハード面をどうにかしないとイケないという部分っていうのは出てくるんじゃないのかなと。そういう意味を含めましてルール作りとこのをちょっと発言させて頂きました。

【司会】

ありがとうございました。通学路が非常に貧弱だというのは、どこでも当てはまりますけどね。歩道の整備自体がそもそも遅れていると思いますし、まさに公助で、行政の役割だという風に思います。

【市民】

中学校は、通学路ができていますよね。

中学校は、みゆき橋を渡って、それからナフコ側の交差点に出て、北村の交差点を渡って、その線路側の線路を渡って駅前に出ていくんです。

【司会】

中学校の通学路は指定されているから、どこも同じだと思うんです。ただ、その通学路が狭かったり、なかなか安全という風には言い切れないという所があるということです。そのためにルールをきちんと、まあ加害者にもなるよという意識の基に、ルールをきちんと作って明示するということが必要ではないかなというご意見だろうと思います。

【市民】

川棚のお母さんの会議は、何とか人をかき集めてされていたようですが、なかなか難しい。

【司会】

何か他にありますか。もう大体、当初、指示のあった時間にもなりつつあるのですが、

まだ触れていない事、何かありますか。

恐らく、課題というのはまだ一杯あると思っているのですが、私が事前に持ってきたものも沢山あるんですよ、この倍以上ありますけども。

そこは置いといて、またこういう議論をする機会もあろうかと思しますので、その時またご提案させて頂ければと思います。

何か特にありますか。

【市民】

課題では無いですが、せつかく市の部長もおられますし、私も自治会長の立場から1つ個別にはお願いしているのですが、色々と自治会連合会の事です。

私は、たまたま黒井の連合会の会長やっているのですが、書類を各下関市役所の部課から個別にこれを配布しなさい、これを連絡しなさいと、この2、3日は市議会との集会在住民の懇親会の話し合いがあるから40部もの書類をドサッと持ってきました。それを私が仕分けて、あちらこちらに配るんです。その後2、3日したら、今度は人権推進委員会、それから菊川で12月7日に何々があるから5名ほど出せと、10月31日までに出席名簿を出せとかなんとか書いてと。他にもちょいちょいきます。

私は自治会の立場として、そういう事も勿論やりますが、できれば支所を通すなり、あるいは市の内部で連携しながらまとめて頂きたい。

昨日、この連絡をしましてし、実は今日も連合会の個々の方に、こういうのが来たら頼むよとお願いし、それやってまたこちらに来たわけです。

是非、その辺りを考えて頂きたい。なかなか共有化とか、縦割りとかっていう話がございますが、是非、実行して頂きたい。今の事とはすごく関係ございますので是非お願い致します。

【司会】

ありがとうございます。予定の時間が一応来ましたので、この場で言い足りないというところも、多分いっぱいあると思うんですよ。まとめという事にもなりませんけれども、豊浦町が、本当は下関市が、私たちの町として住みよい地域であるようになるために、私自身も、私たち自身も頑張ろうと思いますし、色々な団体にも頑張って頂く必要もありますし、行政の皆さんも特に頑張って頂く必要があろうと思います。

こういった集まりは、行政と議会と市民という、それぞれの役割の中の市民、地域、住民の役割をという互いに持ち寄って、具体的に、今後やっていこうということになると思うんですよ。今後は、先程のスケジュールの所で出ましたけれども、このような集まりが1回で終わるはずもなく、或いはこのメンバーでずっと続けていくということも多分ないでしょうし、もっと幅の広い議論もする必要もあろうと思います。

いずれにしても、今後、下関をもっと良くするための1つの試み、まあ1歩とはいきませんね、1歩まだ進んでないと思います。要は少し前に踏み出そうという意気込みが行政の中にあるという風に善意に解釈して、今後の私たちの色々な呼びかけ、或いは活動に活かしていけたらと思います。今日はどうもありがとうございました。

司会進行が上手くいきませんで、申し訳ありません。ありがとうございました。

【市】

ありがとうございます。

それでは最後になりますが、部長からちょっと感想を含めてコメント申し上げます。

【市】

コメントというのもおこがましいのですが、豊浦町体育協会からご質問がありました総合計画の件について、今は第2次総合計画というのを、今年と来年で作ろうとしています。実施年度は平成27年度からということでございますので、平成27年4月からスタートとなります。

それと、今後、皆さんでまちづくり会議を作って、その中でまちづくり計画を作りたいというのは、どういう風になっているかという所でございますが、まちづくり全般については、その総合計画の中で計画を立てさせていただきます。それは今、頂いたご意見というか、そういうことも当然に踏まえて、まだお出しになられてない課題も一杯あるということですが、それも踏まえて当然、計画を練っていかねばいけないと思います。

その中で、例えば縦でいくと子育てだとか、教育を含めたのが子育てかもしれませんが、そういうものだとか、あるいは高齢者福祉だとか、それとか環境美化だとか、環境だとか安全だとかという縦の分野でどう切っていくかという問題があります。

それと1つは、今度は地区という横で切っていったらどうなるのか。豊浦地区ではどうするのかという問題もあろうかと思えます。ただ、これで行政が逃げているという話にもなり兼ねないのですが、多分、皆さんのご要望、各地区から出てくるご要望に全て答えていくのは難しい、はっきり言って無理でございます。

その中で、実はじゃあ何かお手伝いを頂くとするか、自分たちが何らかの形で担う事ができないでしょうかというところを、今からお考え頂けないだろうかという、そのまちづくり計画ということになるかと思うのです。

ですから、その中でも例えばですが、例えば先程の買い物弱者、或いは病院といった所でご覧になりましたように、二見地区は確かにやっているのです。これはボランティアでやられています。しかし、行政からはお手伝いをしていません。ただ困っていらっしゃる事があります。車も自分たちで提供して、ガソリン代も自分たちで当然に負担していらっしゃるって、当然に人件費はない。ということで、せめて車の購入費は、かなり古くなったので購入について、どうか手助けしてくれないかということで、お話を頂いたのですが、実は今、公共交通の制度では、お助けするものが何にも無いのですよ。制度的にない。

新しく作れば良いのではないのかといったお話も出ますが、ここがバランスの問題で、なかなか難しいところなのですが、なぜかというと、公共交通の考えで行くと、路線バスが運行されている所には、はっきり言いましてお手伝いができません。

今、お手伝いしているのは、生活バスというのは路線バスが運行されていない所で、これは路線バスの本数が多かろうが、少なかろうが運行されている所は駄目です。

それとか全く活動の無い所、ごく限られたエリアで何らかの活動をされるというのであれば考える余地もあるのですが、今、二見から豊浦病院に運んでられるというのは、まさに路線バスが一応は走っているんで、これに市がお手伝いする方法が無いのです。

ここをどうしようかという、この辺りが行政の協力を得てまちづくりをどうするかという話の1つの要素であるという風に考えています。

ですから、色々な分野がありますので、それを色々と考えて頂きたいというか、行政も一緒になって考えたいという所でございます。

ということで、まず豊浦町体育協会からのご質問に対しては、1つは、まちづくり全体はその総合計画の中で行政がやるべきこと、それは住民の方にご負担を頂かないといけない部分があるかもしれませんが、全体としては当然、計画を立てて推進をしていきます。

ただ、今お願いしたのは、なかなかそれでは補いきれない部分が当然あるでしょう。それと、或いは地区別に計画を立てたとしたら、仮に豊浦地区が1つだけ項目で、豊浦地区におけるまちづくりの特化したものは何かというと、例えば観光だとした時に、それでは他の分野をどうするの、重点分野は観光ですとした時にどうするかと。

これの善し悪しはあるんです。地区別に計画に立てることが良いかどうかということもあります。ただ仮に、そうした場合、その他の部分をどう配分していくかというところで、大変薄くなる部分というものが生じる可能性があります。

例えば、他の分野で薄くなる可能性がある。そこは我々が補いましょうというようなものはないでしょうか。そうすると行政が丸投げのように聞こえるのですが、そうではなくて、やはりなかなか細かく応えていけないのも事実ですから、お互いに協力したらどこかを埋めていけないかという、その辺りをお考え頂いて、実行して頂けないかというのが今回の1つの趣旨でございます。

お答えになったかどうか分かりませんが、一応、整理はそういう風にさせて頂くので、まちづくり計画、今後作って頂くまちづくり計画は、豊浦地区の全体の計画を立てて下さいという訳ではないということでございます。すみません。私が勝手に何か言ってしまうて、若干違うようです。

まちづくり計画は、全体であって協力できる所はどこ部分があるかということかもしれません。ただ、今申し上げたように、あくまでも総合計画というものがありますので、それが市の、例えば1つまちづくりの方針であり、計画であるはずですから、それを少なくとも、今後お作り頂くものはバッティングを侵すものではないですし、それを超えるような、或いはイコールというものでは、やはり無いはずだという風には考えております。

【司会】

ですから、今、策定中の総合計画の中には、この取り組みが位置付けられているのでしよう。

【市】

地域内分権といいますか、これは計画の中の1つとして、当然に入って参ります。地域内分権、今、住民自治によるまちづくりという考え方は、当然に総合計画の中に入ってくるということです。

【市】

今日はお疲れ様でございました。

お忙しい中、ご参加を頂きまして、ありがとうございました。